

# 栗原地域だより

第 28 号

平成 28 年 11 月 1 日発行

## 目 次

- 晩秋の伊豆沼の風物詩 ～冬鳥のシーズンが始まりました～ p1
- 伊豆沼一周サイクリング！ ～栗原地域事務所職員が試走～ p2
- 高次脳機能障害のご家族を対象とした、「家族教室」に参加してみませんか？ p3
- 多面的機能支払に取り組む組織への「中間指導」を 10 月～11 月に実施しています！ p4
- 木と触れ合い、親子の絆が深まる ～一迫小学校親子木工教室の開催～ p4
- 土砂災害防止法による調査結果について説明会を開催しました p5
- ブレ全共！宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部、乳用牛の部）が開催されました p6
- 栗原のねぎが見事、宮城県知事賞 1 等（農林水産省生産局長賞）受賞！  
～平成 28 年度宮城県農林産物・花き品評会～ p7
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p8



栗駒山の紅葉

## 晩秋の伊豆沼の風物詩 ～冬鳥のシーズンが始まりました～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

今年も伊豆沼に冬の使者たちがやってきました！いよいよ冬の渡り鳥（冬鳥）シーズンの開幕です。

今年も、9 月 14 日にマガンが、10 月 5 日にコハクチョウが伊豆沼周辺で確認され、その後順調に数が増えています。

最盛期には 10 万羽を超える、ガン類の飛び立ちとねぐら入りは伊豆沼の冬の風物詩となっていますが、実はまだ、それほど寒くない今の時期でも 5 万羽ほどが飛来していることをご存じですか？最盛期の 1 月にはかないませんが、見応え十分です。さらに、今の時期は気候的に厳冬期よりも楽に観察ができ、日中は伊豆沼周辺の水田で餌を食べているマガンやハクチョウ類を見ることもできます。



稲刈りが終わったばかりの水田で休む  
マガン（写真提供 嶋田哲郎）

雪の心配がなく、比較的天気安定する晩秋の伊豆沼に、渡り鳥を見に出かけてみませんか？

■お問い合わせ 林業振興部 森林管理班 Tel：0228-22-2133

## 伊豆沼一周サイクリング！ ～栗原地域事務所職員が試走～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

夏のはすまつり、秋から冬にかけては渡り鳥と、季節ごとにいろいろな楽しみ方がある伊豆沼・内沼ですが、サイクリングで一周できるのをご存じでしょうか。

某月某日、くりこま高原駅にある（一社）栗原市観光物産協会のレンタサイクルを利用し、筆者を含め当事務所の職員3人が伊豆沼一周に挑戦しました。

くりこま高原駅を出発し、伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターに出て、西回りで一周というコース。途中、登米市側の新田にある伊豆沼農産くんぺるで昼食休憩を取りました。

くりこま高原駅からサンクチュアリセンターまでは、県道268号線を通って約25分。アップダウンもありますが、道路は整備され快適に走れます。サンクチュアリセンターからは、県道176号線や市道、堰堤の上などを走ります。途中、草木が茂ってコースが見えにくい場所は注意が必要ですが、それ以外は車とすれ違うことも少なく、無事完走できました。

おすすめの場所は、県道176号線から分かれて伊豆沼の西岸を南へ向かう道です。きれいに舗装された一直線の道で、伊豆沼を見渡せる絶景ポイント。湖面を渡る風に吹かれて、真っすぐに伸びた道路を走る気持ちよさは、まさにサイクリングの醍醐味です。

また、北岸の堰堤上を走る道も、見晴らしがよく気持ちよく走ることができます。

途中には、栗原市サンクチュアリセンターつきだて館（昆虫館）や軽食喫茶ひしの実（スワントピア交流館内）、登米市サンクチュアリセンター（淡水魚館）、伊豆沼農産のレストランや直売所、伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターなど、休憩しながら伊豆沼の生き物や自然について学習できる施設もあります。

所要時間ですが、私たちの場合、写真を撮りながらゆっくり走って約3時間半でした（休憩時間を除く）。くりこま高原駅から伊豆沼までの道を除けば、ほぼ平坦な行程です。

もう少し短い時間で回りたい方には、伊豆沼の西側半分を走るコースがおすすめです。伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターからぐるっと西側を回り、浄土川沿いを走って栗原市サンクチュアリセンターつきだて館（昆虫館）まで。くりこま高原駅発着で約3時間みておくといいでしょ。



レンタサイクルを借りて、  
いざ！スタート！！



のどかな田園風景を満喫しながら、  
伊豆沼を目指します



伊豆沼の絶景ポイントに到着！  
自転車を降り、風景を堪能しました

日頃の運動不足の解消やリフレッシュを兼ねて、一度伊豆沼・内沼サイクリングに挑戦してみたいか  
がでしょうか。

なお、本稿で紹介したレンタサイクルに関するお問合せは、(一社) 栗原市観光物産協会まで。

また、コース図については、(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団作成が作成したパンフレット(「伊  
豆沼・内沼ガイドMAP」、P.4~P.5)に分かりやすい案内が載っていますので、そちらをご覧ください。

★(一社) 栗原市観光物産協会 Tel: 0228-25-4166

ホームページ: [http://kurihara-kb.net/event/detail\\_tour.php?id=12&param=tour](http://kurihara-kb.net/event/detail_tour.php?id=12&param=tour)

★(公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団(伊豆沼・内沼ガイドMAP)

ホームページ: [http://izunuma.org/pdf/zaidan\\_panf.pdf](http://izunuma.org/pdf/zaidan_panf.pdf)

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel: 0228-22-2195

高次脳機能障害のご家族を対象とした、「家族教室」に参加してみませんか？

北部保健福祉事務所栗原地域事務所

交通事故や脳血管障害などが原因で発症する「高次脳機能障害」は、外見からは障害のあることがわか  
りにくいいため、「見えない障害」と言われています。ご家族は、ご本人の変化に戸惑ったり、悩んだりす  
ることもあるかと思います。

このような状況を踏まえ、このたび、高次脳機能障害者のご家族を対象とした「家族教室」を開催しま  
す。ご家族の皆様が、日々のご苦労や大変さを語り合い、分かち合うことで、心の負担を少しでも軽くで  
きればと思います。ぜひお気軽にご参加ください。また、周りで悩んでいる方をご存じでしたら、本家族  
教室についてお伝えいただけますと幸いです。

<日時> 平成28年11月18日(金) 午後2時から午後4時まで

<場所> 栗原合同庁舎 第5会議室(保健所棟2階)

<内容> (1) ミニ講話

『高次脳機能障害の理解と対応の仕方について

～障害を持ちながら自立した生活を送るために～』

(2) ご家族同士の交流、情報交換

<助言者> みやぎ高次脳機能障害ピアサポートチーム セタ 代表

高次脳機能障害ピアカウンセラー 佐々木 智賀子氏

■お問い合わせ 北部保健福祉事務所 栗原地域事務所 母子・障害班 Tel: 0228-22-2118



多面的機能支払に取り組む組織への「中間指導」を10月～11月に実施しています！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

農業・農村には、洪水や土砂崩れの防止、自然環境の保全、美しい風景の形成などの様々な働き（「多面的機能」）があります。「多面的機能支払」制度は、このような農業・農村の様々な機能の維持・発揮に向け、地域組織が共同で実施する取組を支援するものです。

8月19日には、宮城県多面的機能支払推進協議会が主催する「多面的機能支払に係る活動支援研修会」が、栗原文化会館で開催されました。この研修会は、多面的機能支払に取り組む組織が農地保全等に関する共同活動を円滑に進められるよう、毎年7月～8月にかけて、県内7会場で開催されているものです。さらに、宮城県では上記の研修会のほか、取組組織への支援の一環として、年度の途中で今年度の活動や経理等が適正に実施されていることを確認し、必要に応じて指導を行うことを目的とした「中間指導」を、毎年10月から12月の間に実施しています。

栗原市においては、10月21日から11月22日までの1か月を「中間指導」実施期間として予定しており、当事務所と栗原市が連携し全組織を指導します。なお、今年度、栗原市内で多面的機能支払に取り組んでいる組織は145組織あり、取組面積は9,528haとなっています。これは、市内の農振農用地の54%にあたります。

当事務所では、引き続き多面的機能支払に取り組む地域組織の活動を支援します。



8月19日開催の活動支援研修会の様子



多面的機能支払組織による活動事例

(金成)

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel: 0228-22-2458

木と触れ合い、親子の絆が深まる ～一迫小学校親子木工教室の開催～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

9月27日、栗原市一迫小学校のPTA行事として、「親子木工教室」が同校の体育館で開催されました。この催しは、親子での木工作業を通して互いの絆を強めるとともに、保護者や子供同士の親交を深めることを目的として開催されたものです。

当日は、第5学年児童の親子108名が参加し、栗原市内で植林されたスギを伐採・製材した、栗原産乾燥スギ板の本立てを製作しました。



一迫小学校の親子木工教室の様子

作業は、製作図面を見ながら板に線を引く作業から始められ、寸法を間違っ板を切断する親子もいましたが、のこぎりでけがをすることもなく、無事に終了しました。

また、製作前に当事務所から、森林の働きや約 40 年前に植えられた苗木が、工作用の板になるまでの森林の手入れ等について説明し、森林・林業に対する理解と関心が得られました。

栗原市内では、各種イベントや小学校を会場とした同様の木工教室が、宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部（事務局：栗駒高原森林組合）により、今年度に入って 6 回開催されています。

木材の良さが理解されるとともに、親子の触れ合いを深める機会を提供する木工教室の開催を、当事務所では今後も支援してまいります。

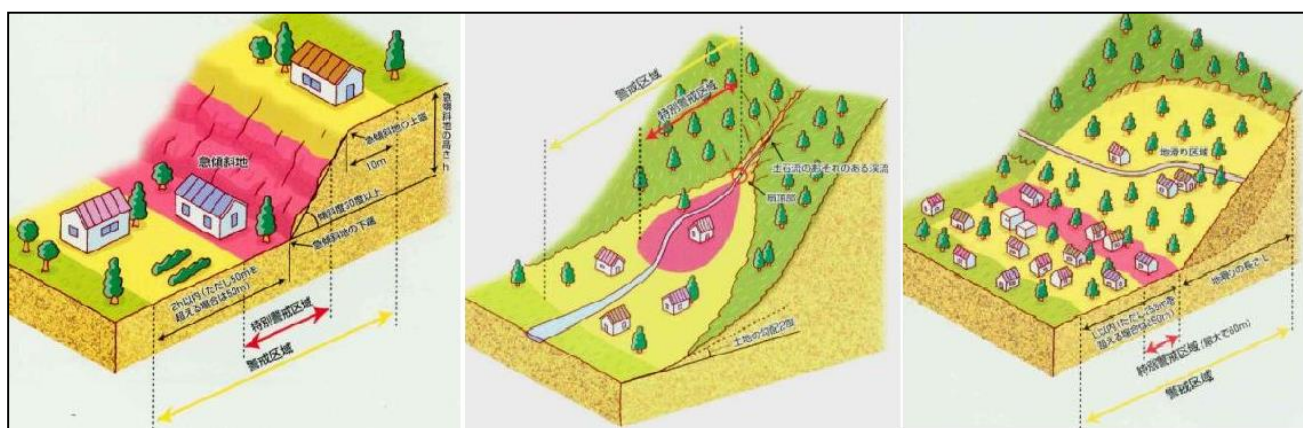
■お問い合わせ 林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381

### 土砂災害防止法による調査結果について説明会を開催しました

北部土木事務所栗原地域事務所

皆さんは、土砂災害防止法という法律をご存じでしょうか？この法律は、土砂災害防止法は、平成 11 年 6 月 29 日広島県呉市を中心とした集中豪雨により、土砂災害が多数発生し数多くの死者が発生したことを契機に、住民の生命等を守るための警戒避難体制の整備、建築物の安全性の強化、開発行為の制限等のソフト対策を、同時に展開していくことの必要性が強く認識されたことから制定されたものです。

土砂災害防止法による危険区域には、急傾斜地の崩壊、土石流及び地すべりの危険がある区域があります。



土砂災害警戒区域（イエローゾーン）：土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）：土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

栗原市内には、土砂災害危険区域の対象となる箇所が 518 箇所あり、平成 28 年 3 月までに 217 箇所の調査を完了し、そのうち 188 箇所を土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域として指定しました。

今年度は調査完了箇所のうち、「若柳地区」「金成地区」「高清水地区」「花山地区」「一迫地区」の 5 地区、25 箇所を対象に 8 月 4 日～18 日に説明会を開催しました。

説明会では、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定の概要や土砂災害から人命を守るための避難行動などについて、以下の内容の説明を行いました。



- ・日頃からの備えと早めの避難
- ・情報を素早く入手し、避難所へ避難
- ・お年寄りや要介助者、夜間等の避難が難しい場合は、建物内の安全なところ（崖から離れた部屋や2階等）への避難

当事務所では、引き続き未指定箇所の調査とその調査結果の説明会を行い、土砂災害に対する啓蒙活動と土砂災害による被害の低減を目指してまいります。

皆さまにおかれましても、いざという時のために、災害に備える心がけをしていただきますようお願いいたします。

■お問い合わせ 北部土木事務所 栗原地域事務所 河川砂防班 Tel：0228-22-2193

### プレ全共！宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部、乳用牛の部）が開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

一般社団法人宮城県畜産協会と第11回全国和牛能力共進会宮城県実行委員会が主催する「平成28年度宮城県総合畜産共進会（肉用牛の部、乳用牛の部）」が、美里町のみやぎ総合家畜市場において開催されました。

9月10日に行われた「肉用牛の部」は、県内各地区から選抜された肉用牛104頭が出品され、村井知事列席のもと、個体審査3部門と群審査3部門の審査が行われました。栗原地区では、第3区的最優秀賞に佐藤聖さん（瀬峰）の「あまてらす号」が選ばれました。他にも第1区で3頭、第2区で1頭の牛が入賞しました。

本共進会の「肉用牛の部」は、来年度開催される「第11回全国和牛能力共進会宮城県大会」のプレ全共に位置づけられており、催事コーナーが設けられるなど、多数の来場者がありました。

「乳用牛の部」は、9月21日に開催され、10部門57頭の審査が行われました。審査の結果、栗原地区からは、第1区的最優秀賞に伊藤紀彦さん（志波姫）の「スペシャル スパイラル フロスト号」が受賞しました。また、第2区で2頭、第3区で2頭、第6区及び第10区で1頭ずつが入賞しました。

受賞された皆さま、この度はおめでとうございます。



肉用牛の部 栗原地域の出品者の入場行進



肉用牛の部 第3区最優秀賞

「あまてらす号」

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel：0228-22-2487

栗原のねぎが見事、宮城県知事賞 1 等（農林水産省生産局長賞）受賞！

～平成 28 年度宮城県農林産物・花き品評会～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

10月15日、16日に県庁1階フロアで「平成28年度宮城県農林産物品評会」及び「花き品評会」が開催されました。栗原からは65点（県全体で590点）が出品され、見事12名の方が入賞されました。野菜部門では片倉栄治さん（瀬峰）のねぎが知事賞1等（農林水産省生産局長賞）、普通作物部門では有限会社狩野農友（栗駒）の水稻（うるち玄米）が知事賞2等（農林水産省政策統括官賞）を受賞しました。

今年は8月中旬以降から台風の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となる日が度々ありましたが、生産者の方々のたゆまぬ努力により、素晴らしい農産物が出品されました。

各部門の展示コーナーには、多くの方々が来場され、栗原産農産物の質の高さを知っていただく良い機会となりました。

受賞された皆さま、この度は本当におめでとございました。



生産局長賞を受賞した片倉さん



見事な出来映えのねぎ

平成28年度 宮城県農林産物品評会及び花き品評会受賞者一覧

部門名	品名	受賞者氏名	受賞	地区
普通作物	水稻（うるち玄米）	有限会社 狩野農友	知事賞2等(政策統括官賞)	栗駒
普通作物	水稻（うるち玄米）	nano悠久農産株式会社	知事賞3等	栗駒
普通作物	水稻（うるち玄米）	佐々木裕章	知事賞3等	志波姫
野菜	莖葉菜類	ねぎ	知事賞1等(生産局長賞)	瀬峰
野菜	莖葉菜類	キャベツ	知事賞3等	志波姫
野菜	果菜類	ズッキーニ	知事賞2等	若柳
野菜	果菜類	トマト	知事賞3等	志波姫
林産物	施設生椎茸	生しいたけ	知事賞2等(食用茸協同組合長賞)	瀬峰
花き	その他切り花	白鳥幸彦	金賞(宮城県議会議長賞) (仙台生花(株)代表取締役社長賞)	一迫
花き	パンジー	千田律子	金賞(仙台市長賞)	金成
花き	ペコニア	千田智也	銀賞	金成
花き	パンジー	岩淵光男	銀賞	若柳

■お問い合わせ 農業振興部 地域農業班 Tel：0228-22-9404

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 28 年 8 月 22 日～10 月 21 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

8 月 22 日から 10 月 21 日までの間に農林産物 31 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値（100 ベクレル/kg）以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの（8/22～10/21）

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
キウイフルーツ	—	◎	菌床マイタケ(2点)	—	◎	—
キャベツ	—	◎	くり	—	◎	—
ごぼう	—	◎	原木ブナハリタケ(3点)	—	◎	—
こまつな	—	◎	みずの実	—	—	◎
ゴーヤ(2点)	—	◎				
さつまいも	—	◎				
さといも(2点)	—	◎				
じゃがいも	—	◎				
セロリ	—	◎				
トマト	—	◎				
ながいも(2点)	—	◎				
なし	—	◎				
なす(2点)	—	◎				
にら	—	◎				
ねぎ	—	◎				
はくさい	—	◎				
ぶどう	◎	—				
ブロッコリー(2点)	—	◎				
ポポー	—	◎				

◎：基準値以下      —：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を  
ご覧ください。

[http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

- お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物）  
林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：[nk-khsinbk@pref.miyagi.jp](mailto:nk-khsinbk@pref.miyagi.jp)

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第 29 号）は平成 29 年 1 月 5 日発行予定です。